

# 会 議 録

1 会 議 名	令和3年度第1回太宰府市地域公共交通活性化協議会
2 開 催 日 時	令和3年8月5日（木）14:00～15:10
3 開 催 場 所	太宰府市役所 4階大会議室
4 出 席 者 名	清水委員（副会長）、力武委員、甲斐田委員、小川委員、古賀委員、森本委員、長委員、中山委員、寺町委員（会長）、辻委員、丹下委員、河野委員、八尋委員
5 議 題	太宰府市コミュニティバス「まほろば号」の運賃について
6 内 容	
会長	早速議事に入ることとして、議題について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、令和3年度の歳入予算の増収を図るべく、予算に「まほろば号」の運賃収入増を盛り込み、観光客など市外利用者に対して運賃の増額の方角性を視野に入れて検討してきた。具体的には、観光客の利用が多い内山線について、運賃を改定できないかなど検討し、関係機関とも協議を進めたが、運賃の基準、重複する他の路線との運賃の兼ね合いなど技術的に実施が難しいと考えている。しかしながら、「まほろば号」の継続運行を考えた場合、何らかの見直しが必要と考えている。運賃、ダイヤ、路線、市内のバス路線、将来的な考え方等を委員にお伺いしたく今回の会議を開催した。</p> <p>まほろば号の沿革、利用者数などの運行状況について説明。</p>
会長	<p>まず今説明のあった資料についての質疑、次に「まほろば号」の現状の運賃に関する質疑、その次にダイヤ・運行本数に関する質疑、最後に「まほろば号」に限らず太宰府市内全体の公共交通の在り方についてのご意見を伺いたい。</p> <p>まず今説明のあった資料について質問等はあるか。</p>
委員	資料の2. 運行本数の推移の1日当たりの運行本数について、平日、土曜、日曜の本数がそれぞれ10便ほど違うが、どういう便が減っているのか。
事務局	便数の違いについては、平日は早朝や夜の便が通勤通学に使われるため多く、土曜や日

	曜は通勤通学等がなくなるため、便数を減らしている。
委員	今は土曜も休みが多くなっているため、土曜も日曜も同じ程度の便数でいいように思う。
事務局	ご指摘いただいた箇所は、まさに今後の課題であり見直しの対象と考えている。
会長	<p>私見だが、他自治体では土日は全く運行していないところもあり、それを考えると地域の特性もあるかもしれないが、太宰府市の現状は土日のサービス水準は高いと思う。</p> <p>次に、ここからが本日の本題だが、今後を含めた方向性等も含めて「まほろば号」の運行に関してそれぞれの立場から運賃、ダイヤ、運行本数、路線等、太宰府市内の全体の公共交通の運行の在り方についてご意見承りたい。</p> <p>まず、運賃についてご意見ご質問があるか。</p> <p>「まほろば号」は区間一律 100 円で運行しており利用者の利便性からすると質の高いサービスを提供しているが、資料の 4. 収支状況を見ると、全体の収支率は 27.3%で全体の約 4 分の 3 は税金で補てんしているという現状がある。</p> <p>労働人口が減ると税収も減り、この収支率や補助金が 5 年後、10 年後も続けることは個人的には難しいと思う。一方で、運賃を値上げするとその分利便性が下がるため、その部分をどう考えるかをそれぞれの立場からの意見を伺い、事務局が今後の判断材料にする。</p>
委員	<p>「まほろば号」について活性化するためにはまず利便性が必要であることは間違いない。また、財政的に黒字であることも活性化の条件だと思う。この場で活性化のために、どういうアイデアがあるか意見を出しあい、ベストの案を探ることはできないか。今の運賃・経路にとらわれず、例えば観光用まほろば号を運行し市外者からの利用を募る、マイクロツーリズムを活発にするといった新たなアイデアでまほろば号の活性化を図っていくこともいいのではないか。そのために、結論をいつまでに出すかを協議会で決めて、スケジュールを作成する必要があると思う。</p>
楠田市長	<p>まっとうなご指摘ありがとうございます。先ほど事務局からの説明は私の見解と異なる部分もあったが、本年度の予算提案で収支率、市の補助金が高騰していることから、コロナ禍でもあり財政面での改善をしなければならない。そのため、市外の方の運賃を一部値上げしその路線については観光路線化しようとして提案している。肝心の観光客が呼べずに観光客も増えていない状況で、そうしたことをする意味があるか、また、タイミング的にいつ行うべきか、さらに技術的に同じ路線で二重運賃はなかなか難しいといった問題もあるが検討を進めてきた。</p> <p>一方で議会でも、市外の方のみ値上げすることに対して理解が得られるか、技術的に利用者が市外の方かどうか見分けることが可能かといった懸念もあった。直接的な回答ではないが、今年度はそういった新たな取り組みをしようとしており、来年度以降もコロナ禍が長引いており、新たな行政事業も出てくる中である程度の抜本的な改革もし</p>

	<p>ていかなければならないと考えている。本日の意見を踏まえて、スケジュールや、改革するのか、現状維持するのか、一定の税金をかけて路線を充実させるのか、そういったことについて率直なご意見を頂ければと思う。なかなか苦しい状況であることもご理解いただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば、観光用まほろば号を作るとして、そのルートを歴史と文化のまち太宰府を宣伝できるルートにしてはどうか。具体的には、令和の里という副駅名がある西鉄都府楼前駅を玄関口として出発し、坂本八幡宮、政庁跡、観世音寺、五条駅、太宰府駅、九州国立博物館、竈門神社を通るものとし値段は高くしてもいいのではないか。例えば、片道250円で往復は400円にし、市内の方が利用する場合でも観光ルートのため同様の運賃にする。さらに、1日乗降自由なフリーチケットを導入する等のアイデアを出したらどうか。</p>
<p>会長</p>	<p>非常に積極的なご提案で、次の段階に進むときの参考として、利用できるキーワードもあった。</p> <p>今の提案が営業として成立するかどうかは不明だが、観光客もしくはマイクロツーリズムのような利用を「まほろば号」と全て一緒に議論するのは難しいと思う。</p> <p>西鉄さんやJRさんで導入されているが、同路線を走る場合でも、時間をかける代わりに人のアテンドや食事の提供等の質の高いサービスを提供することで稼ぐ仕組みもあり、観光として色々な仕組みを作ることのできることもあると思う。</p> <p>一方で、生活路線としてのコミュニティバスの在り方は、現状のままでいいとは個人的には思っていない。今は100円だが、限界が来たから200円にする、あるいはやめるといったことは運行している行政側からすると利用者に対して無責任と思うため、持続可能な仕組みをある程度行政側でたたき台を作成し、選択可能であれば複数の案を提示するのも一つの手だと思う。</p> <p>交通事業者のようなプロでさえ、既に値上げや減便を始めており、コミュニティバスだけが現状のまま維持できることはありえないと思う。それ以外の公共サービスですらありえない時代が来るとも思う。</p> <p>観光に対して積極的に取り組む話と生活交通であるコミュニティバスの間でどのくらいトレードオフの関係であるかを提案して市民に情報開示をしていく考えもあると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>内山線は利用率が高く観光客の利用が多いため、全体の収入を上げるときに一つのポイントになると思う。土日は便数が多く、内山線に臨時便や直行便を運行することで収入を上げていくことはすぐできそうな気がする。ただ、最終的には運行経費がかかりすぎているため長期計画を立てて見直していかないと市の補助金は減らない。自治会等の関連から考えると「まほろば号」の費用はあくまでも一般企業での福利厚生的要素とみており、よく経費がかかる、赤字だという声もあるが、市民の福利厚生のためにあるという基本的な考えは持っていたきたい。</p>

<p>会長</p>	<p>ご指摘のとおり、特に車がない方にとっては「まほろば号」は移動の生命線であることから、ある意味なくてはならないインフラだと思う。</p> <p>過去の会議でまほろば号に色々な機能を持たせたいといった話をした記憶もある。本来の乗合の仕組みは観光に限らず、様々な用途で利用して構わない。</p> <p>民間事業者が運行しない、行政がかなりテコ入れをしないといけない部分がどうあるべきかは今ご指摘された考え方も大事で、外出の機会が減ることで病気につながる可能性もある。</p> <p>一方、交通事業者も厳しい状態であることに限界が出てくると思う。次のフェーズでは運行を引き受けられず撤退する可能性もありえる。変わらざるを得ないフェーズに突入しているという実感もあり、今あることが10年後も続くとは思っていない。</p> <p>事務局への提案だが、メンバーに若手をいれてみるのはどうか。今から太宰府市を支えるような方から、この場がいいのかどうかかわからないが意見を聞く仕組みを作っていた方がいいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>まほろば号は、観光客、通勤通学で利用する地元の方等様々な利用者がいる中で、運賃を今後どうしていくかは市の財政面や利用者がどの程度増えるのかといった事もあると思うが、他市町村の事例では運賃を上げているところもある。150円や200円にして高齢者にはフリーパス券を導入し割安にしているところもあり運賃の見直しはそのような方法でもできる。市外の方の見分けは難しいと思うので、例えば全区間一律150円にして、市内の方向けにフリーパスや通勤通学用の定期券を作ることでもできると思う。</p> <p>また、将来的な話で言えば、他の自治体では予約型のデマンドバスといった新しい方法を導入しており、全て定時定路線のバスがいいかというところも厳しい。路線拡充の要望もあることから、デマンドバスと組み合わせを進めていくのも一つで、1便当たり数人の路線をデマンドバスに移行する等、メリハリをつけた方法でないと厳しいと個人的に思う。</p>
<p>会長</p>	<p>富山県で日本で初めてライトレールが走った時に、外来客は200円だが、地元の高齢者に発行しているICカードを使うと10時から16時までは100円で乗れるという仕組みもあった。市外の方をどう切り分けるのかは条件を整理する必要はあるが、アイデア次第では実質の運用は可能と思う。しかし、同一区間での二重運賃は説明がつかないため、その点はどううまく運用した方がいいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>我々は路線や運賃について要望を伝える立場ではないが、2点ほど申し上げたい。</p> <p>協議会において収支や利用状況を明らかにすることは大事だと思うが、太宰府市として、今後どのようにしていきたいかが見えない中で協議会に投げられても議論が進まないのではと懸念がある。収支率は確かに低いですが、福祉政策的に捉えた場合はこれからも市が支出していくことはあり得ると思うが、観光客も入れてやっていく市の公営事業ということであれば黒字化を目指していくことになると思う。その辺の市としての考え方が明らかになっていないので議論が発散しているのではないかと。もう1点は、仮に福祉政策的な観点があるにしても、もう少し収支率を改善していかないと持続可能</p>

	<p>ではないということであれば、収支や利用状況のデータを見直さないとこれだけで、どうやって黒字にしたらいいかという議論は難しい。おそらく西鉄さんは自分たちで路線を維持するときかなりのマーケティングをされていると思うが、話せる範囲で日頃こういう部分を見ながらマーケティングしているということがあれば教えていただけたら。</p>
委員	<p>ICカードが普及しており、ICカードの乗降データが取れるため、路線により通勤の多いところ、昼間の利用が多いところ等を把握している。また、ICカードのタッチ情報から遅延情報もわかるため、分析しゆとりを持ったダイヤを組むよう心掛けている。</p>
委員	<p>ありがとうございます。今後黒字化を目指していくのであれば、長期的なスパンでの取組になるため、今話されたことの一部でも取り組んでいただけたらと思う。 今後、ポストコロナを見据えると、テレワークの普及により利用状況も変わってくると思うため利用状況を把握しておくことも重要だと思う。</p>
会長	<p>昨年度と今年度のデータはある意味貴重なもので、個人的には5年ほどはウィズコロナのつもりでいたほうが良いと思う。詳細は年限も含めて前向きに検討してもらえたらと思う。</p>
委員	<p>話が変わるが、「まほろば号」の話で、太宰府小学校の校区からお願いがありまして、内山方面の子供が下校時は太宰府駅前から乗車し帰宅しているが、紅葉時期は竈門神社に行く観光客が多いため乗れないことがある。そのため、太宰府駅前の一つ前のバス停である梅大路で待って乗車している。紅葉の時期は夜もライトアップしており、利用者も多いことから、この時期だけでも子供を優先して乗車させる等の何かいい方法はないか、市の方で検討していただきたい。</p>
会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。どこまで対応可能かは別にして、今回の会議は結論を出す場ではないため、それぞれの立場から気づき、ニーズ、知見等を事務局へ提案していただけたら会議を開いた意味があると思う。</p>
委員	<p>市民の交通手段として、マイカーが多い中で、「まほろば号」の利用者が増えることも考えにくく、収益を上げることは難しい。 福祉関係ということで運行しつつ、財政面でも負担をかけないということで難しいが、先ほど私が行ったことに固執するわけではないが、新ルートとして観光ルート、歴史と文化ルートを作り、市民も市外者も同一の運賃としてまほろば号よりも運賃を上げて、その代わり色々なところに行けるといったものを作り、西の都対象地域全てに宣伝し呼び込み新ルートで稼ぐというのも一つの手だと思う。</p>
会長	<p>積極的に打って出る余力があるということは恵まれていると思う。観光客がたくさん来て困っていることは、当事者からすると大事な問題だが、一方ではぜいたくな悩みで</p>

	<p>もあると思う。前向きに解決する策があればいいと個人的に思う。</p> <p>利用者 1 人当たりどのくらい補助をしているというかも市民に認識してもらうことも重要と思う。</p> <p>委員 今後の複数案を作っていくうえでの参考として、県内の状況だが、コミュニティバスは運賃 100 円が多いが、直近では福津市さんが運賃を 100 円から 200 円に上げた。元々 200 円の設定にしており年配の方は 100 円に割引というものだったが、年配の方の割引をなくして一律 200 円にした。受益者負担の考え方と思うが、2008 年から人口が減少しており、市民一人当たりの水道代やインフラにかかる経費が増えていく。その中でどのように維持していくかと考えた結果、市民にも了解を頂き運賃を見直したという経緯がある。</p> <p>県でもコミュニティバスに対する運行補助金があり、条件が収支率 25%で太宰府市さんはクリアしているため毎年補助をしているが、収支率が悪化すれば県としても補助ができなくなる可能性があるため、自立性を見るとある程度収益性を考えていくべきと思う。</p> <p>そのうえでご提案だが、観光ルートを新しく作ることは難しいかもしれないが、小豆島の事例だったと思うが、平日と観光が多い土日で料金を分ける。平日は例えば 300 円のところ、土日は 500 円となっている。もしくは同じルートで理解が得られないのであれば、八女市が 7 月 5 日から実証運行しているように平日と土日でルートを変える。八女市では平日は住民向けに循環線、土日は観光客向けのルートと分けており、どちらも料金は同じだが、料金の差別化を考えるのであれば可能だと思う。</p> <p>平成 14 年 1 月から全区間 100 円となっているが、コストは交通事業者様もかなり削減されていると伺っているが、それでも人件費や燃料費等で増える部分もあると思う。平成 14 年の段階でコストがどのくらいかかっている、それがやむを得ない事情で現状コストがある程度上がっているのであれば値上げという論点にもなるのではないかと。費用対効果も考慮しながら運賃を議論していくべきと思う。</p> <p>会長の話された複数案のいずれかでそういった形で検討していただけたらと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>今のご発言も事務局にとって色々考えるヒントになる知見が含まれていたと思う。他にご意見、質問等はないか。無ければ、本日は皆さまからご意見を頂くということが目的だったため、事務局としては本日の賜った意見を参考に、今後の方針の企画立案をしていただけたらと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。本日頂いた意見等を参考にさせていただき、今後さらに検討させていただきたい。</p> <p>次回の協議会について、審議案件等が出てきたら、改めて日程調整をさせていただきたい。以上で、令和 3 年度第 1 回太宰府市地域公共交通活性化協議会を終了する。</p> <p>ありがとうございました。</p>